

子どもの読書活動支援者のための研修会（県北研修）

in 松川小 2012. 2. 29 wed



【開 会】13:00

- ・会場校長あいさつ 黒澤 一男 松川小学校長
- ・県北教育事務所あいさつ 佐藤 明彦 主任社会教育主事
- ・日程確認



【説 明】13:10~14:00

「学習に生きる学校図書館の活用」 松川小学校 司書教諭 佐藤 文江 氏

松川小学校司書教諭佐藤文江先生から、松川小学校の学校図書館教育で行う「子どもと図書館をつなぐ」「子どもと子どもをつなぐ」「子どもと保護者をつなぐ」「子どもと地域ボランティアをつなぐ」「保護者と学校図書館をつなぐ」「教職員と学校図書館をつなぐ」そして「教職員と公立図書館をつなぐ」取組みについて説明をいただきました。教職員の努力と熱い思いが伝わってくるとともに、素晴らしい実践に感心させられました。



【松川小学校「学校図書館」見学及び授業参観】

・授業参観（学校図書館を活用した授業）

『国語科』4年2組 服部 英昭 教諭

松川小学校の素晴らしい図書館に感激しながら、学校図書館を活用した授業を参観させていただきました。授業では、図書館ボランティアさんと担任の先生が連携し、子どもたちの活動をしっかり支える姿が印象的でした。



【講 義】14:30~16:00

「子どもと本を結ぶ技術 ～ブックトーク～」

県立図書館 資料情報サービス部

児童資料チーム班長 大崎 眞希子 氏

県立図書館大崎さんを講師に迎え、子どもと本を結ぶ技術のひとつである『ブックトーク』について講義をいただきました。

実際に大崎さんから「視点～見方を変えると色々なものがみえてくる」というテーマで小学校高学年を対象にしたブックトークの実演を見せていただき、その後、ブックトークの実践のポイントを教えていただきました。

「子どもたちがこころ豊かに育つことをねがって」という大崎さんの思いがこもった“すいこまれるようなブックトーク”でした。



参加者の声

【ボランティア】

- ・ 「ブックトーク」たいへん勉強になりました。子どもたちに多くの本と出会う手がかりになればいいなあと思いました。やってみたいです。
- ・ 松川小学校の環境整備と図書貸借方法の効率化、先生方と保護者、そしてボランティアが協力して子どもたちと本をつなぐ活動に感心しました。
- ・ 木の香がただようような、天井の高い楽しい雰囲気を感じ出すものが、満載のすばらしい環境の図書館でした。本の整理もすばらしく、探している本がすぐ見つかりそうな。このまま、座り込んで好きな本を読みふけりたくなるような。そんな場所でした。
- ・ 子どもたちの授業態度、落ち着いていて本を読む習慣が身についているようで、本当にすばらしい。
- ・ 私も学校の図書ボランティアとして、先生方のお手伝いをし、子どもたちによりよい環境を提供したいと強く思いました。
- ・ 久しぶりの授業参観に感動しました。
- ・ たくさんの本に出会えた、楽しい楽しいブックトークありがとうございました。自分自身の栄養になりました。

【行政職員・学校関係】

- ・ 他の学校の図書館を見る機会がほとんどないので、たいへん参考になりました。学校・保護者・ボランティアの協力のすばらしさを感じました。
- ・ 図書館を魅力的にするのって大切ですね。大人でもわくわくしました。
- ・ 参加者が多くて授業見学が十分できなかったのが残念です。
- ・ 松川小ボランティアの熱意を感じました。
- ・ 子どもたちのために何かしら行動していこう、がんばろうという気持ちが湧いてきました。



松川小学校で開催しました本研修会には、地域や学校等で活動する読書ボランティアさんをはじめ、学校の先生方、公立図書館司書、行政職員など約80名の参加をいただきました。

研修会開催にあたり、会場の提供をはじめ、駐車場の整備、温かい飲み物の準備等様々なお心配りをしていただきました松川小学校様に心より感謝申し上げます。

また、松川小学校図書館教育の実践報告をしていただいた佐藤文江先生、そしてブックトークの実演を織り交ぜた講義をしていただいた県立図書館大崎真紀子さんには、お忙しい中の資料の準備をはじめ、大人数の前での報告・講義とたいへんお世話になりました。

最後に、天候の悪い中、参加いただいた皆様の研修意欲と子どもの読書活動に対する熱い思いに敬意を称します。

みなさん、本当にありがとうございました。